

伊方町

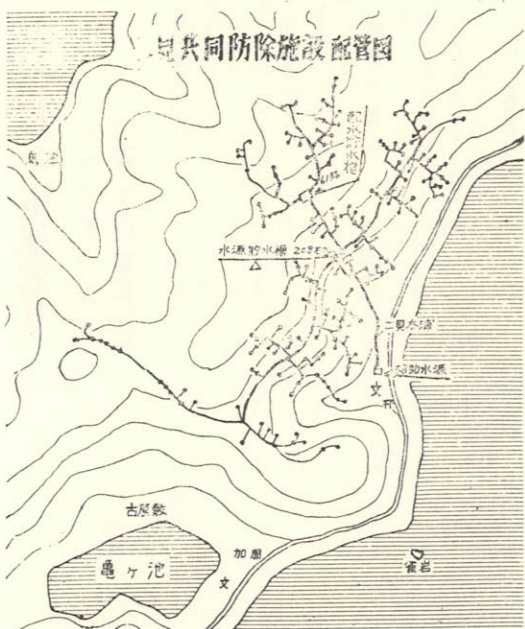
発行人 伊方町 伊方町総務課
印刷所 南予民報社印刷部
電話 県内 276 番

6月の税金
保町 納税は
6月末日までに

新農業

二見の共同防除施設完成

35年度は集荷場(大見)船揚場(田之浦)など



部落ぐるみの果樹栽培

二見部落の特色

新農村建設特別助成地域指定の、初年度は終わった。そして、二見本浦部落に工事費二百万円、かなり大規模な、果樹園共同防除施設が完成した。二見目である三十五年度は、大浜集荷場、仁田之浜共同貯水タンク、河内共同防除施設、町見集荷場、田之浦船揚場などが計画されている。そして、五月十七日、新しい施設で始め、共同防除を行なった二見本浦を訪ねた。

(二見本浦)
五畝以上三反未満 一九戸
三反以上五反未満 一五戸
五反以上七反未満 七戸
七反以上一町未満 四戸
一町以上一町五反未満 三戸
一町五反以上二町一反未満 一戸

農林センサスによる一見の共同防除施設は、二見本浦の農家は、ごく平凡なものである。五反未満の農家がその大半を占めているあたり、この地方のどこにでもみられる細ぶりのものである。

農林センサスによる一見の共同防除施設は、二見本浦の農家は、ごく平凡なものである。五反未満の農家がその大半を占めているあたり、この地方のどこにでもみられる細ぶりのものである。

敷設したパイプ一万三千メートル

二見の全園に及ぶ

二見の共同防除施設は、工事費二百万円、受審者直営の工事完成された。まず工事の概要を見てみよう。

六二石入 貯水タンク 一基
二〇八石入 貯水タンク 一基
三段式 薬劑混合タンク 一基
エスロンパイプ二、七九〇米
高圧ポンプ及原動機

これが施設の主なものである。二見部落の中心に、水量の少ないが、日でも乾きもめつたに水の切れにくい大川と云ういふみがある。これが共同防除の主な水源だ。この水を最高限に利用するため、常時水とため、ためおく

新農アルバム



一 共同防除施設の設置された二見のミカン園—中央白いのは、共同防除の噴霧

一 頂上につけられた613石入り配水タンク

↑各所に設けられたコック。ここにゴムホースをつなぐ。

一 大川の水をためる二〇八石入り水溜タンク

一 薬劑混合タンク。手前は貯水中。

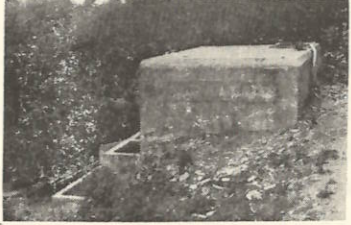
↑混合された薬液は、ここで、かきまぜられ、次のタンクから動噴にすいこまれる。

運営は防除班で 時間割で集める薬代

この施設は、二見青果組合が管理することになったが、実際は二見部落の二〇才以上の男子が中心で運営されている。防除班が運営にあたり、年間の計画を立てるのも、具体的日どりの順番も防除班で決めている。ノースルをもつて薬をかけるのは、二見部落の人の全部の園に行きわたらせることになっている。

自衛官募集

受付 6月1日から7月11日まで
資格 18才以上25才未満の男子
予備試験を伊方で
7月6日 午前九時から
伊方町役場会議室



干害を免でいたパイプを利用して共同防除をするため設けられた共同防除用タンク第一号これがこんどの大規模な防除施設に着手する一つの試験台ともなつた

